

陳情 第33号

受付 平成29年 2月21日

付託 平成29年 3月 1日

市営公共施設入場に際し歩行困難者の便宜を図る陳情（バリアフリー取手 歩行環境）

・陳情趣旨

取手市は、高齢化率 32.1%を超える自治体です。

身体障がい者は約 1600 人。内、下肢障害で障害者手帳の発行を受けた方が、858 人。装具として杖だけを使っている方から、下肢装具・車椅子使用の方まで、症状によって様々です。又、加齢により足腰が弱り歩行困難で、杖や歩行器（シルバーカー・ハンドル型電動車椅子含む）を使用している方。更にはベビーカー等。

土足禁止屋内入場に際し、上履きと履き替えなければならない場合でも様々な条件で履き替えられない事があります。特に靴型下肢装具や車椅子・シルバーカーの、靴底やタイヤ。一番多いのが杖先ゴムでしょう。

現状は一部の施設では、杖先ゴムの清掃具を常備し車椅子タイヤの埃除去用のマット・雑巾等を設置しています。

大半では、それがなされていません。

市民の健康増進のため建設されたウェルネスプラザ内健康スタジオにあっては専用車椅子も設置されていません。

これでは、「歩行困難者は公共施設を使用するな。」と言わんばかりです。

・陳情事項

①全ての取手市営公共施設土足禁止部分への歩行困難者立ち入りに対し、合理的配慮を行う事。

②全ての取手市営公共施設土足禁止部分への歩行困難者立ち入りに対し、履物、杖先ゴム・タイヤ等の除染対策を講じること。

以上、陳情いたします。

平成29年2月21日

陳情者

住所 取手市宮和田 985-19

氏名 斉藤たかし

取手市議会議長 殿